

# 夕張市議会だより

2018年2月1日

第40号

議会運営委員会

## 夕張市議会の果たすべき役割を念頭に

— 市民・行政・議会一体となって —

夕張市議会議長 厚谷 司

市民の皆様には健やかに新春を迎えるのことと心からお慶び申し上げます。

市民の皆様には日頃から、市政推進にあたり、また市議会に対し、格別なるご理解とご協力、ご支援を頂いておりますことに厚くお礼申しあげます。

昨年は、平成28年度に進められた財政再生計画の抜本的な見直しに基づき、国としても「夕張市の財政再生後を見据えて環境整備を行うための事業」に対し総務大臣から「財政再生変更計画」について同意を頂くことができ、夕張市は財政の再生と地域の再生への一歩を踏み出すことができました。

一方、財政再生計画の抜本的な見直し後の行財政運営において、「収支均衡を図る取り組み」は

継続していかねばなりません。このような一般財源が限られた中でも、新たに充実を図らなければならぬ施策も出てくるものと思われま

す。夕張市地方版総合戦略、財政再生計画の見直しにより求めた効果を常に検証しながら、一歩ずつ計画終了後や将来の街の姿をしっかりと描けるよう市議会としても一丸となって諸課題に取り組んでまいり所存です。

将来のまちづくりに向けた議論を躊躇することなく、人材育成や社会基盤のあり方について、相互の連携をより深めたまちづくり、人づくりを進めていかなければなりません。

本年、夕張市議会はこの視点にたち「議会だより」による情報発信はもとより、意見交換会、市

民の皆様とともに学びあう機会の創出などを通じて、二元代表の一翼を担う役割と、地域経営を担う責任のもと、引き続き「機関」としての機能強化を図るべく取り組みを展開してまいります。



## 平成29年第4回定例市議会

第4回定例市議会は、平成29年12月7日から14日までの8日間を会期として開催されました。議案9件・報告4件・意見書2件の審議を行いすべて原案のとおり可決いたしました。

### 議案

◎夕張市財政再生計画の変更について

(929、192千円)

・平成28年度決算余剰金を財政調整基金に積み立てるための経費

(890、139千円)

・木質バイオマスの可能性調査を行う経費

(9、936千円)

・共同浴場の機械修繕の経費(2、118千円)

他

◎退職手当支給条例の一部改正について

◎夕張市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する

ご意見・ご感想をお寄せください

本町4丁目市役所内  
夕張市議会事務局  
電話 52-3172  
又は 52-3131  
までお願いします。

### 編集委員

委員長

人哉二子子夫勝

靖和修澄桂孝

田川山間谷島葉

本今大高熊君千

委員長

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

委員

夕張市議会では議会改革の一環として、ICT化の推進に取り組み始めました。各議員が自費でタブレット端末を購入し、各種委員会及び本会議に持ち込むことを認める取り決めをいたしました。

基準を定める条例の一部改正について

◎工事請負契約額の変更について

・夕張市石炭博物館大規模改修工事における設計変更による契約金額変更(23、695千円の増)

◎夕張市教育委員会委員の任命について

・安藤政子氏

◎平成29年度夕張市一般会計補正予算

◎平成29年度夕張市国民健康保険事業会計補正予算

◎平成29年度夕張市介護保険事業会計補正予算  
◎平成29年度夕張市水道事業会計補正予算

## 報 告

◎財政的援助団体の監査結果について

・夕張市民生児童委員協議会

・社会福祉法人 夕張保育協会

◎例月現金出納検査の結果について(3件)

## 意見書

◎日本国憲法第9条改正に反対する意見書

(提出議員 熊谷・千葉・本田・小林・君島)

◎核兵器禁止条約に速やかに署名し批准することを求める意見書

(提出議員 熊谷・千葉・本田・小林・君島)

## 一般質問

小林尚文議員

### 拠点複合施設について

◎開設当初の管理運営体制については、どこが実施主体と考えているのか  
◎拠点複合施設は、行政機能を担うとともに、交通機能や多様な市民が集う「中核的な拠点」と位置づけ、機能や役割を踏まえ、有効活用を図る関係部署を施設に移転させ管理運営に努める。  
◎役割のひとつとして、防災機能や市役所の支所機能を持つことになるのか  
◎市としては避難後に福祉的配慮の必要な市民に対しての、二次的避難施設としての活用など、求められる機能の課題を整理して、防災面での活用について検討する。また、南支所を移転する方向で検討を進めている。  
◎今後、地域住民に対する説明会が予定されているが、近隣住民のみを対象と考えているのか。  
また、説明内容や実施時期について

◎市民の賑わいをつくる重要な施設。近隣住民のみならず、幅広い市民を対象として開催を予定している。1月中を目途に機能やつながりなど、平面図などで示す。市民がより具体的な施設をイメージできるように実施してまいりたい。  
◎備品等の選定、移転のスケジュールについて  
◎来年度早々、移転に向けた体制をつくり、31年度に向けスケジュールを進めていきたい。  
◎管理運営体制について  
◎当面、市が担うが、市民や団体等と連携し、行政と市民が協働すること今後検討する。

今川和哉議員

### 広報戦略について

◎市民に行政情報を伝えるための広報はどのような方法で行っているか。また、SNSサービスを利用した広報についての方針はどうか。  
◎市民への行政情報の提供は、毎月発行する広報ゆうばりに加え、必要に応じて市のホームページにも掲載する方法で実施している。災害や断水など、速報性の高い情報については、公式ツイッターの活用と、広報車による巡回、チラシの戸別配布などを実施している。  
◎様々な広報媒体を駆使しながら、迅速な情報発信に努めていきたい。なお、新たに制度化した住宅の取得やリフォームに対する補助についても多くの申込みがあったところだが、申請者からはホームページを見て知ったとの声が寄せられている。  
◎観光・移住等、市外に向けての広報はどのような方法で行っているか。また、現状どのような課題があると考えているか。

◎本市は9年ぶりに公式ホームページの全面リニューアルを実施し、今年度より運用を開始。観光・移住対策等市外へ向けての情報発信も行っている。一方で、ここ10年間に於いて財政破たんした夕張市というイメージが固定化されてしまっているため、地域の再生の取り組みを積極的に進めようとする中で、こうしたイメージを払拭していくことが重要であり、ホームページの活用などによりその対応を図っていく。  
◎各課ごとの広報連携を強化し、事業の広報が必要であると考えられる課題に横断的な組織をつくり、こうした組織で勉強会の開催や広報戦略プランの策定をするようなことができないか、その実現可能性についてはどうか  
◎ホームページに掲載する情報の取り扱いについては、合同勉強会を開催するなど、情報の共有化にも努めており、今後ともこういった取り組みを続けていき効果的な広報活用を行っていきたい。



**【図表】**最大の課題は夕張市全体のイメージの払拭、10年間繰り返し返すマスコミをはじめとして、テレビ報道等により破たんイメージが植えつけられてしまった部分がある。いかに効果的にプラスの情報を発信していくかというのが最大の課題だろうと思っている。そういった中、今回ホームページも9年ぶりに一新したところ、その機能を十分に發揮していくために、人材育成も図りながら引き続き効果的な情報発信に努めてまいりたい。

# 林業振興について

## 問 薬木栽培事業について

問 薬木植栽事業の継続にあたっての課題について伺う

**問**現在、薬木植栽事業は市有林で実施しているが、事業拡大に伴う敷地の拡大で国有林等で実施する考えはあるのか伺う

**答**市有林には、まだ植栽適地があるので、現時点では市有林での展開を進めていきたい。

**問**薬木植栽地を地域振興策として活用することに

ついて伺う

に、10月に日吉地区において、北洋銀行創立

## 木質バイオマス エネルギーについて

**問** 再生可能エネルギーとして木質バイオマスがあるが、夕張市の豊富な森林資源を活用し再生可能なエネルギーを生み出して、市内に供給することが出てくるとしたら、夕張市にとっても大変有意義なことではないかと思うが市長の考えを伺う

【図】今年度林野庁の事業でバイオマスエネルギーの導入に向けた実現可能性調査を実施している。この調査は、原料となる木材の生産・燃料チップの生産・燃料チップを熱源として利用する施設、これらを市内で完結させることが可能なのか、採算面やコスト面などから調査するものであり、調査終了後検討したい。また、環境省の事業でより具体的な調査を予定して

本田靖人議員

# 行政執行体制について

平成30年4月採用予定  
の採用試験の状況について

【答】例年よりも受験者が少なく、現在2次選考を実施している。就職戦線が売り手市場となっていることと本市職員の給与が未だに3割カットとなっているなどの誤認されやすい情報が流れていることが要因として考えられる。仮に採用予定人数を確保できなかったとしても、次年度以降に繰り越すなどの対応を考えている。

間給食調理員および学童  
保育指導員の募集状況に  
ついて

**答** 数カ月前から募集しているが、採用に至っていない。フルタイムに拘ら

問 派遣職員の次年度以降の見込みについて

**答** 来年度も今年度と同人数程度を確保できるように努める。

問職員体制の今後の課題について

【答】定年退職予定者が多くいる中、技術や業務知識の継承が課題となっている。この点をクリアするために財政再生計画を見直し、計画的な採用ができるように計画変更した。人材の確保に努めることが重要と考える。

**問**市の業務のアウトソーシングの検討状況について、10月の機構改正以降、**答**野ごとに検討を進めている。当面、市営住宅の入退去に係る事務や修繕の対応についてアウトソーシングが可能か課内検討を指示した。地域再生のためには、安定的に行政サービスを提供していくことが大前提であり、行政として守るべき職種については引き続き堅持していきたい。

## 議員研修会

10月29日、はまなす会館において議員会主催のICT研修会を開催しました。

講師は夕張出身の小賀聡さん（大学非常勤講師・地域こどもネットワーク「みんなの森」事務局長、父親ネットワーク北海道副会長他）です。

今回の議員研修会は、栗山町議会との包括連携協定に基づき、合同の研修会として実施し、栗山町議会の皆様にも多数ご参加いただきました。

午前中は「議員活動の



ためのICT活用」と題し、先進事例をご紹介頂きながらお話を伺い、多くの気付きを得ることができました。

議員の危機感から始まったタブレット端末による「議会の見える化」を実践している、愛知県安城市議会では、市民アンケートの調査結果から、「議会情報がわからない」「活動内容がわからない」「市議会の具体的な動きが見えない」「情報発信する市議会と受け取る市民の双方が、今一歩消極的」などの答えに、議会の見える化に取り組むを開始。

今では、議会のライブ中継、SNSの活用で議会情報の積極的公開、議場のICT化として大型スクリーンを導入し、説明資料や持ち込み資料をスクリーンに映し出す。災害情報の共有と情報伝達の迅速化、事務作業の省力化、情報ソースの拡大、市民への迅速な情報開示を目指しています。主な効果として、市民からの相談、陳情、請願件数の増加。市民からの

議会運営に対する満足度、信頼度、議員活動のしやすさ等があげられています。

他に、神奈川県逗子市議会・佐賀県議会・茨城県美浦村議会・滋賀県大津市議会等も紹介され、これまでの紙情報から、デジタル情報に移行しつつあり、紙やインクの省資源化、省力化、そして、場所を選ばず情報を活用でき、伝達できる技術が議員が学び、実践していることが話されました。

さらに、重要なことは、市民が必要としている情報です。例えば、次のような市民の側に立った情報発信が求められています。

◎災害や地域の情報  
◎地域イベントや集会  
◎季節の行事 桜や紅葉等

◎生活情報 ゴミ収集・断水・停電・台風・除雪情報など  
また、高齢者をICT活用につなげることで、医療分野の活用や予防医療にもつながるとのお話でした。

議員間では、「議員に渡される資料は公開資料であることから、将来的には、議会や委員会の資料を含め、全ての公開資料が市のホームページから誰もが閲覧できるようになり、活用できることが必要」と話しながら、「見える議会、市民に役立つ情報発信」ができるよう、研修を重ねていく予定です。



「核家族化が進み、コミュニケーション力が足りないのは、もはや子どもだけではないことから、日々の暮らしの中から子ども目線で『ワクワク』を探し出し、世代を超えた交流の機会を演出することが、大人（保護者・地域住民・先生）の役割。これまで札幌を中心に行ってきた活動を紹介しながら、夕張での可能性を探る」という内容です。

スマートフォンやタブレットが、簡単に写真やビデオ撮影もできることから、様々な可能性が広がります。

21世紀は映像の世紀。時代の利器を使いこなして、議会改革、まちづくりに活用していきたいと思っています。

## 夕張市内行政視察

行政常任委員会にて10月24日に石炭の歴史村、夕張鹿鳴館、交流の里きずな（車窓から）、認定こども園建設予定地（旧清水沢小）、ぱれっとふあーむ（旧幌南中）、（株）スポーツピア「ゆ





うばり自然体験塾」(旧幌南小)、てらっこ屋(旧夕張小)の行政視察を実施いたしました。

◆夕張鹿鳴館は、元大夕張鹿鳴館(株)が新たに運営を行うにあたり、10月20日～12月10日まで期間限定で開館することに合せて視察することができました。夕張鹿鳴館は、近代産業遺産、登録有形文化財で炭都夕張の栄華が残る歴史的文化財です。

今回は特に宿泊施設も見

◆(株)スポーツピア「うばり自然体験塾」は、夕張の特性(自然)を生かした体験事業、スキー用品のレンタル事業を実施して教育旅行(修学旅行・宿泊研修)にきた生徒にシューパロダム



学することができました。

◆「ぱれつとふぁーむ」は、障がい者自立支援事業、地域貢献事業を目的にA型事業所で障がい者を雇用して木彫り、切り絵、野菜作り(キクイモの栽培など)等の作業を行っています。

◆「てらっこ屋」は、「子育ての悩みを気軽におしゃべりできる場」を2016年4月から活動を開始し、10月に、子どもと母親らの交流の場を目的して旧夕張小学校の「うばり共生ファーム」内の旧会議室を子どもが遊べるプレールーム、隣の旧保健室を母親たちや地域の人が集う場



湖面ツアー、夕張メロンジャム作り、スキー授業、夕張の農家で農業体験事業等を行っています。

行政視察の  
受入対応状況

夕張市の行政視察は、受入日を設定し、調査事項も「財政再生計画に関すること」として受け入れていきます。視察では議長が挨拶を述べ参加者からの質疑に応じています。

■視察自治体■

◎陸別町議会(9月28日)



所としての活動施設を完成し現在活動を行っています。

◎秋田県男鹿市議会ほか3市議会(10月11日)

◎東京都立川市議会ほか4市議会(10月25日)

**第1回臨時市議会**

平成30年1月16日に第1回臨時市議会を開催し、3件の議案について原案のとおり可決しました。

**議案**

◎夕張市財政再生計画の変更について

・地方債(過疎対策事業債)を活用した拠点複合施設建設用地取得による増

◎市道路線の認定について

・拠点複合施設整備事業に伴うアクセス路線の整備を実施する路線を市道とする

◎指定管理者の指定について

・夕張市石炭博物館の指定管理者を特定非営利活動法人炭鉱の記憶推進事業団とし、期間を平成30年4月1日から平成35年3月31日までとする。

## 石炭博物館の新たな指定管理者が決定

夕張市石炭博物館は、旧北炭夕張炭鉱天竜坑を利用した石炭産業関連としては世界でも有数の博物館です。

本市の地方版総合戦略において「みんなの力でつくる『石炭博物館再生プロジェクト』」として「郷土文化施設」、「社会教育のための機関」として石炭博物館を再生することを掲げ、平成28年度から29年度の2年間にわたって大規模改修を実施してきました。

S 55 開館（第三セクターによる運営）  
H 18 夕張市の財政破綻を機に閉館  
H 19 夕張リゾートを指定管理者として再開  
H 25 観光施設から文化施設に転換  
H 27 夕張リゾートが指定管理返上  
H 28 市の直営にて再開  
H 29 新たな指定管理者にNPO法人炭鉱

H 30 の記憶推進事業団を指定  
新たな指定管理者により運営

### 【新たな指定管理者】

■団体名 NPO法人炭鉱の記憶推進事業団  
■設立 平成19年6月4日  
■目的 空知旧産炭地

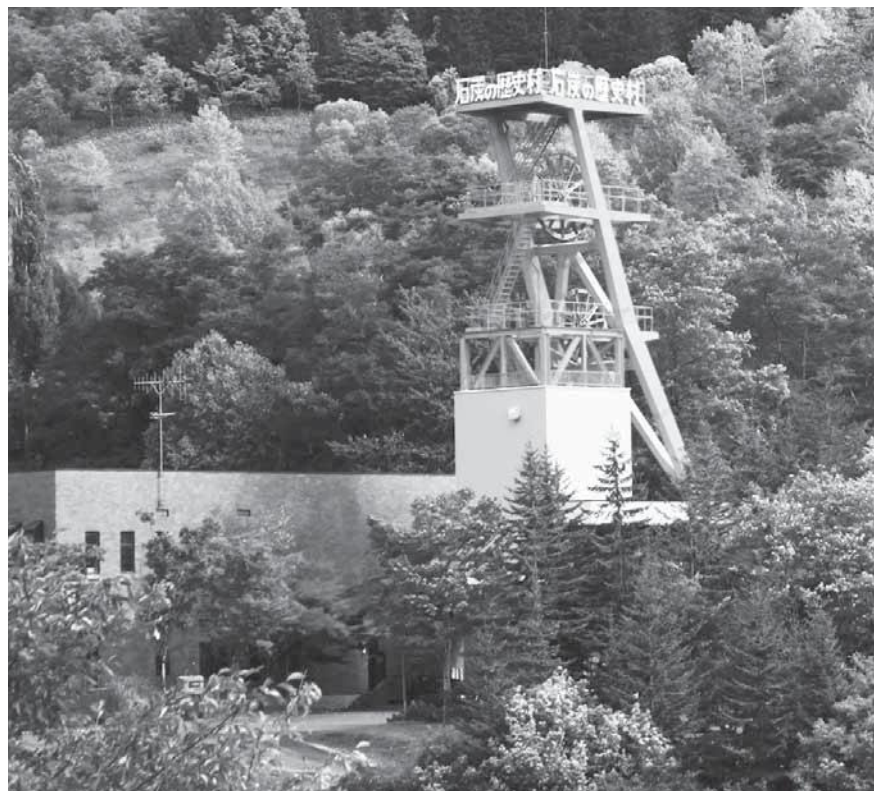
域の人々や当該地域を訪れる人々に対して、有形・無形の多能遺産を将来にわたって継承し公開することによって、歴史的文脈の意義および価値の認識に基づいた地域の活性化に寄与すること

### ■所在地

岩見沢市1条4丁目3

### ■電話

0126-24-9901



## ICT化による議会改革の検討について

夕張市議会では市民に開かれた議会を目指し、夕張市議会基本条例に基づいて議会改革を推進しています。

その一環として、平成29年第4回定例会および昨年12月に開催された行政常任委員会から、会議にタブレット端末を持ち込むことを認める取り決めをし、一部の議員が試験的に活用をスタートさせました。

ペーパーレス化による印刷コストの削減やよりスピーディーな情報共有などの効果が見込めるものの、ICT化にかかる各種費用が議員の個人負担となっているなどの課題もあります。

「市民の皆様にとってよりよい議会、身近な議会としていくために必要なことは何か」という視点をもって、さらなる検討を進めてまいります。

